

# G P 通信



平成20年度の文部科学省「質の高い大学教育推進プログラム（教育G P）」に本学が申請していた取組「地域の子育て施策を活用した教育方法の改善」大垣市との連携による子育てサロンの運営を通じた体験学習」が平成20年9月30日に選定されました。

G P (Good Practice) をサポートしています。

昨年までは、特色G P (特色ある大学教育支援プログラム) と現代G P (現代的教育ニーズ取組支援プログラム) とされてきましたが、本年度からは「質の高い大学教育推進プログラム」に一本化され、「教育G P」と略称されることとなりました。

## 教育G Pに選定される

### 地域の子育て施策を活用した教育方法の改善

「Good Practice」をキーワードとして、教育方法や教育課程（カリキュラムなど）の工夫改善の取組や、社会からのニーズの強い課題に対応した取組など、大学における学生教育の質の向上を目指す特色のある優れた取組を選び、その教育プロジェクト（取組）

## 教育G Pとは

この「質の高い大学教育推進プログラム」（平成20年度予算額86億円）では、大学設置基準等の改正等への積極的な対応を前提に、各大学・短期大学・高等専門学校から申請した教育の質の向上につながる教育取組の中から特に優れたものが選定され、広く社会に情報提供するとともに、重点的な財政支

## 本学の取組内容は

本学の取組は、より質の高い短期大学士課程教育を実現し、あわせて地域社会への一層の貢献を果たしながら、本学の建学の精神と教育目的に沿った人材養成機能の強化を図るため、地域の子育て施策を活用して教育改善を行うとする内容の取組です。

本学の取組では、大垣市の子育て支援施策と連携して開設している子育てサロン等を幼児教育科・音楽総合科・デザイン美術科・歯科衛生科の4学科全ての学生が、授業や行事における体験学習の場として学科の特性を生かして多様な形態で活用します。そしてこれにより、子育て支援を通し

た地域貢献を実践する中で、学生が体験学習によって学修意欲を高め、学修成果を一層向上させることをねらいとした取組です。  
またこれを本学が進めているFD活動の一環として、さらに教育課題を克服するものとしても位置づけられており、学長を中心として教職員の全てが本学の教育基本理念の実践のために組織的に行う取組でもあります。

## 推進の組織づくり進む

教育G Pの取組にあたっては、これを統括する「G P推進委員会」（委員長である学長、4学科長、事務局長、図書館長、学務課長で構成）と、この委員会のもとで学長の命を受けて、計画立案と取組の実施にあたる「G P専門部会」（部会長、副部会長、4名の各学科教員、自己点検・評価委員会専門部会長、子育て支援学習センター長、図書館長、学務課長、学務課長補佐で構成）が組織されています。  
なおG P部会については、取組の推進を徹底するため、正・副部会長及び各学科教員は原則として1年交代とし重任はしないこととしています。

全学での取組になるよう  
ご協力をお願いします